令和４年度　美術科　授業改善推進プラン

大田区立大森第四中学校

１　昨年度の授業改善推進プランの検証

（１）成果

・例年に続きどの学年も落ち着いて授業に参加し、意欲をもって制作に取り組めていた。

・個別指導の時間を充実させ、生徒個々の考えやつまずきを把握して指導を行い、生徒の意欲につなげることができた。

・作品が完成できるように指導や声掛けを細めに行い、最終的にほとんどの生徒が清陵祭展示の部に出展をすることができた。

・分かりやすく具体的な説明を心掛け、ＩＣＴを活用して理解を深めながら制作を進められるように指導することができた。

（２）課題

・アイデアスケッチの段階で進度の差が出てしまい、作品の提出が遅くなる生徒も一定数いるため、個別指導の他に発想法などの思考教材の開発が求められる。

・意欲をもって制作する生徒もいる中、集中力が続かない、授業内容をなかなか理解できない生徒への指導を充実させる必要がある。

・授業内容を生徒にとってより理解やすい説明や授業展開を検討していく必要がある。

２　授業改善のポイント

（１）知識・技能

・タブレットのアプリケーションや動画教材など多様なＩＣＴ機器･機能を引き続き使用し、理解しやすく自らも進んで学んでいけるような授業を実施する。

・今まで扱ったことのない素材や道具、機器を使用する機会を設け、丁寧なで安全な個別指導を心掛け、より高度な技能の習得を補助する。

（２）思考・判断・表現

・生徒がよりアイデアや考えを深く思考し整理して表現できるよう、昨年度よりもさらに改良を加えたワークシートや補助教材を作成し活用していく。

・より生徒が自己肯定感を高め、授業の活動を通して多様性を実感できるよう、生徒の考えや表現したもの以外にも様々な作品鑑賞や考えに触れる機会を多く取り入れていく。

（３）主体的に授業に取り組む態度

・授業時間内に作品が完成できるように、ICT を活用して生徒自ら計画を立てることができる仕組みを取り入れる。

・他者と作品や考えなどを共有する機会をより設けるために、他クラス・学年とも共有し刺激を受け合いながら授業に取り組めるような、学校全体で共有する環境を整えていく。